

医学教育プログラム評価票 ver 1.1

2017年版

教育プログラムの評価は「評価の指針」に基づき、教授会に本「評価票」の「評価の項目」について、記載を求めるとともに、その根拠資料、学生と卒業生へのアンケート、教員へのアンケート、教育関係者へのアンケート、学修成果に掛かる前向き調査等に基づき実施し、最終的に総括評価を行う。

医学教育評価委員会

2018年2月7日

1 学生の受け入れ方針と方法

①学生の受け入れ方針の見直しの有無

有 無

②「①」で有の場合、今回の学生の受け入れ方針の見直しの事由

アウトカム基盤型学修にあわせて、文言を変更した。また、他学部と同様に箇条書きにした。

③「①」で有の場合、今回の学生の受け入れ方針の見直しにおける学修成果の反映

有 無

その概要

④学生の受け入れ方針の策定と改訂の指針・計画がある場合；

有 無

その名称

全学教育推進機構主導の定期的見直し

⑤「④」で有の場合、今回の学生の受け入れ方針の改訂の手順

全学教育推進機構 → 各学部教務委員会 → 教授会 → 全学教育推進機構

⑥学生の受け入れ方法（入学試験方法）の見直しの有無

有 無

⑦学生の受け入れ方法の策定と改訂の指針・計画がある場合；

有 無

その名称

⑧「⑥」で有の場合、今回の学生の受け入れ方法の見直しの事由

適性試験の廃止

⑨「⑥」で有の場合、今回の学生の受け入れ方法の見直しにおける学修成果の反映

有 無

その概要

2 学修支援の実施計画

①未習熟者への学修支援に係る指針・計画
指針・計画がある場合；
数値目標の有無

有 無

その名称

学生部による支援指針

有 無

概要

②経済的支援制度
制度がある場合；
数値目標の有無

有 無

その名称

有 無

概要

③カウンセリングとフォローアップの計画
プログラムがある場合；
数値目標の有無

有 無

その名称

有 無

概要

人的資源 どのような組織がどのような人材を活用してカウンセリングとフォローアップを行うか。

健康管理センター臨床心理士によるカウンセリング

④健康管理の計画
計画がある場合；
数値目標の有無

有 無

その名称

定期的健康診断

有 無

概要

どのような組織がどのような人材を活用して実施しているか。

健康管理センターによる定期的健診

3 学修支援（1. 実施計画に対応する）の組織と専門的人材と施設

① 学修支援を担う組織の有無 有 無

組織名 1

1の目的・目標

1の規程の有無 有 無

1の構成

教員	教授	<input type="text"/>	人
	准教授・講師	<input type="text"/>	人
	助教	<input type="text"/>	人
事務員		<input type="text"/>	人
内 専門家		<input type="text"/>	人

1の活動内容・資源

組織名 2

2の目的・目標

2の規程の有無 有 無

2の構成

教員	教授	<input type="text"/>	人
	准教授・講師	<input type="text"/>	人
	助教	<input type="text"/>	人
事務員		<input type="text"/>	人
内 専門家		<input type="text"/>	人

2の活動内容・資源

組織名 3

3の目的・目標

3の規程の有無 有 無

3の構成

教員	教授	<input type="text"/>	人
	准教授・講師	<input type="text"/>	人
	助教	<input type="text"/>	人
事務員		<input type="text"/>	人
内 専門家		<input type="text"/>	人

3の活動内容・資源

② ①の組織の役割分担

4 学修支援の実施状況

①未習熟者への学修支援の実績 有 無
学修支援の取り組み 件

概要

学修支援の成果

学修支援の課題

②経済的支援の実績 有 無
経済的支援の件数 件

概要

経済的支援の課題

③カウンセリングとフォローアップの実績 有 無

カウンセリングの件数 不明 件

概要

健康管理センターにて臨床心理士が対応

カウンセリングの課題

守秘義務により、問題を抱えた学生のフォローに教員が当たれない

④健康管理の実績

健康診断の受診率

有

無

%

概要

定期的に健康診断をおこなっている

健康管理の課題

全員受診されていない。守秘義務により、問題を抱えた学生のフォローに教員が当たれない。

5 学生の教育への参画

① 学生の教育への参画の有無

有

無

事例1

カリキュラムに関する意見交換

目的

カリキュラムに関する意見交換

参画した学生の数

12

人

内訳

1 M

2 M

3 M

4 M

5 M

6 M

学生の意見の反映；

法定に関わる

議論に参加

オブザーバー

概要

各学年代表者（2名）がクラスからの意見を持ち寄って教務委員会メンバーと懇談

事例2

目的

参画した学生の数

人

内訳

1 M

2 M

3 M

4 M

5 M

6 M

学生の意見の反映；

法定に関わる

議論に参加

オブザーバー

概要

事例3

目的

参画した学生の数

人

内訳

1 M

2 M

3 M

4 M

5 M

6 M

学生の意見の反映；

法定に関わる

議論に参加

オブザーバー

概要

1 教員のエフォートの水準の明確化

①教員のエフォート管理の指針等 有 無

名称
所掌・概要

2 教員のエフォートのモニタリングの実績

①モニタリングに係る指針もしくは計画 有 無
指針・計画がある場合； その名称

②教員のエフォート管理のシステム（所掌組織） 有 無

名称
所掌・概要

数値目標の有無 有 無

②実績 実施率
内訳

②数値目標	実績	目標値	達成度	昨年度実績	変化率
項目 1. 教育					
項目 2. 研究					
項目 3. その他（診療）					

3 教員評価の実績

①教員評価に係る指針もしくは計画 有 無
指針・計画がある場合； その名称

②教員評価の方法
方法
組織・所掌

③実績 実施率
内訳

④教員の教育プログラムの理解
理解度の指標

項目	実績	目標値	達成度	昨年度実績	変化率
項目 1.					
項目 2.					
項目 3.					

⑤教員の教員評価の満足度
満足度の指標

項目	実績	目標値	達成度	昨年度実績	変化率
項目 1.					
項目 2.					
項目 3.					

5 教員評価の成果

①数値目標・実績

項目	実績	目標値	達成度	昨年度実績	変化率
項目 1.					
項目 2.					
項目 3.					

②教員評価の課題

6 教員の教育・研究活動の支援（FD、教育・研究経費の補助等）の有無

①教員の教育活動の支援 有 無

名称 1 教員FD 1の所掌 全学教育推進機構
1の規程の有無 有 無

1の概要 教員初心者向けにむけて講義方法をワークショップ形式でおこなっている

1の実績 年2回

名称2 国試問題FD

2の所掌 教務委員会教育研修部会

2の規程の有無 有 無

2の概要 国家試験の傾向を予備校講師から聞く

2の実績 年1回

②教員の教育活動の支援への満足度

満足度の指標

項目1.	
項目2.	
項目3.	

実績	目標値	達成度

昨年度実績	変化率

③教員支援の課題

教育活動の支援にあたる教職員の人的資源不足

1 教育資源の管理の実績

①教育資源の管理運営の所掌部署

有 無

組織 1

学務部教務課

1の構成

教務課職員（矢巾、内丸）

1の規程の有無

有 無

1の管理運営する施設・資源（概要）

講義室、実習室、SGL、教育用什器

組織 2

1の構成

1の規程の有無

有 無

2の管理運営する施設・資源（概要）

組織 3

1の構成

1の規程の有無

有 無

3の管理運営する施設・資源（概要）

②①の組織の役割分担

2 教育資源（施設・設備）の活用のモニタリング

①講堂・教室

数 面積

学生一人当たりの面積

現状と課題

一応、講義・実習には差し支えない

②グループ学習室

数 面積

学生一人当たりの面積

現状と課題

が確保されているが、内丸地区は図書館スタディールームしかない。また管理体制が一体化されていない（矢巾；教務課、

③自習スペース

数 面積

学生一人当たりの面積

現状と課題

同上

④実習室（臨床実習前教育用）

数 面積

学生一人当たりの面積

内訳
設備

現状と課題

差し支えない。グループ学修にも使用可能なユニバーサルデザインとなっている。

⑤臨床技能訓練室

数 面積

学生一人当たりの面積

設備

現状と課題

矢巾の災害時地域医療教育支援センター内にシミュレーション機器の整備された一画があるが、利用している講座が少ない。

⑥IT室（臨床実習前教育用）

数 面積

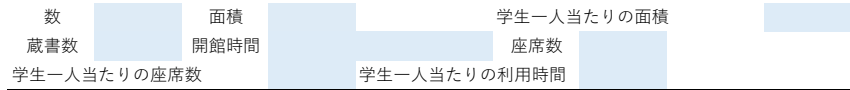
学生一人当たりの面積

設備

現状と課題

矢巾に全学共通のマルチメディア教室があり、CBTにも用いている。

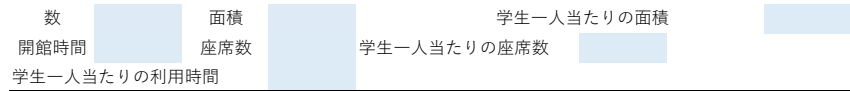
⑦図書室



現状と課題

閲覧用の席が少ない。

⑧食堂



現状と課題

昼食時の混雑がひどい割には、それ以外の時間は利用者数が激減している。

3 臨床トレーニングおよび医行為のモニタリング

①モニタリングシステムの有無



モニタリングシステムがある場合；

その名称

数値目標の有無



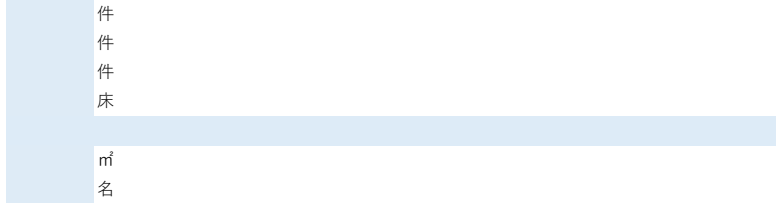
概要 どのような組織がどのような人材を活用して実施しているのか。

[Redacted summary text]

②臨床実習に必要な症例（症候）の評価

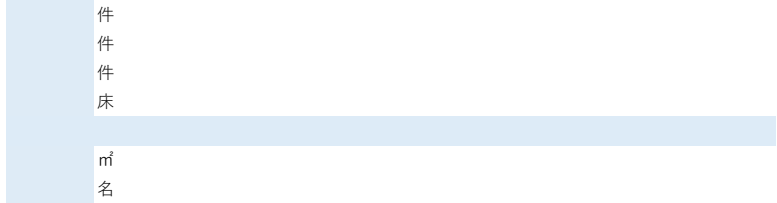
大学病院

外来患者数
入院患者数
手術件数
病床数
疾患分類（内訳）
学生一人当の占有面積
学生一人当の教員数

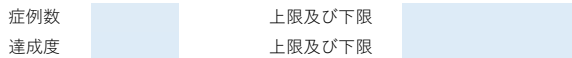


学外臨床実習病院

外来患者数
入院患者数
手術件数
病床数
疾患分類（内訳）
学生一人当の占有面積
学生一人当の教員数



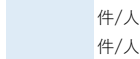
学生の経験した症例数と症候別達成度



③学生の医行為実施の評価



非侵襲的医行為の実施件数
侵襲的医行為の実施件数

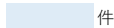


4 ICT環境のモニタリング

①学生の電子カルテ利用実績



アクセス回数
概要



カルテ端末台数が不足気味

②学生の医療データベース利用実績

アクセス回数
概要

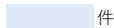


同上、受け持ち患者以外の人物を興味本位で閲覧

③学生のデジタルコンテンツ利用実績



アクセス回数
概要



EBM利用実績に乏しい

5 教育資源活用の実績評価

①モニタリングシステムの有無

モニタリングシステムがある場合；
数値目標の有無

有 無

その名称

有 無

概要 どのような組織がどのような人材を活用して実施しているのか。

②シミュレーターの利用度

学生一人当たりの利用度

指標 1	<input type="text"/>	実績	<input type="text"/>	目標値	<input type="text"/>	到達度	<input type="text"/>
指標 2	<input type="text"/>	実績	<input type="text"/>	目標値	<input type="text"/>	到達度	<input type="text"/>
指標 3	<input type="text"/>	実績	<input type="text"/>	目標値	<input type="text"/>	到達度	<input type="text"/>
OSCE平均点	<input type="text"/> 点	目標値	<input type="text"/>	到達度	<input type="text"/>		
pct-OSCE平均点	<input type="text"/> 点	目標値	<input type="text"/>	到達度	<input type="text"/>		

概要と課題

シミュレーション教育に関して、臨床教員の熱意が乏しい

③学生・教員の意識調査

学生回答率

教員回答率

概要と課題

有 無

% 満足度 %

% 満足度 %

学生は年1回、定期的に学修支援アンケートを実施しているが教員に関してはおこなわれていない。

6 医学研究への参画と支援

①学生の研究への参画実績

学生の学会発表数（主著）
学生の学会発表数（共著）
学生の論文数（主著）
学生の論文数（共著）

概要と課題

有 無

件

件

編

編

研究室配属をおこなっているが、プロセス重視の観点から、プロダクト内容の把握が不十分である。

7 学生・教員の能力開発のための国内外への交流奨励と支援

①学生の国内外への交流奨励と支援実績

学生の国内交流

学生の国外交流

概要と課題

有 無

件 旅費支援額 円

件 旅費支援額 円

留学は、教室単位でなされており、大学全体で体系的に把握しているとは言い難い。大学全体でも又

②教員の国内外への交流奨励と支援実績

教員の国内交流

教員の国外交流

概要と課題

有 無

件 旅費支援額 円

件 旅費支援額 円

外国留学にあたって、金銭的支援体制はあるものの、利用者が少ない。

8 教育専門家によるFD

①FDの実績

教員のFDへの参画の有無

有 無

事例 1

2にて回答

参画した医師の数

人 内訳 大学院生 非常勤医師 助教 講師 准教授 教授

目的

概要

参加者の意見の反映； 決定に関わる

議論に参加 オブザーバー

事例 2

参画した医師の数

人 内訳 大学院生 非常勤医師 助教 講師 准教授 教授

目的

概要

参加者の意見の反映； 決定に関わる

議論に参加 オブザーバー

事例3

参加した医師の数 人 内訳 大学院生 非常勤医師 助教 講師 准教授 教授

目的
概要

参加者の意見の反映； 決定に関わる 議論に参加 オブザーバー

②教育専門家によるカリキュラム開発・教育指導法の開発の実績

概要

全学教育推進機構FDを年2回開催

1 学生評価の方針・方法の開示の実績（※の項目は医学教育評価委員会で調査・記載）

①学生評価の「方針」の開示

有 無

「方針」の名称 アセスメントポリシー

開示の方法

ホームページにて開示

※周知の指標		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
項目1	学生の認知度						
項目2	教員の認知度						
項目3	その他						

②学生評価の「方法（いつ、どこで、どのように）」の開示

有 無

開示の方法

シラバスに記載

※開示の内容		項目1	項目2	項目3
項目1	評価項目	開示していない科目の有無 項目間の重みづけの有無 科目間の相異		
項目2	手法	開示していない科目の有無 科目間の相異		
項目3	日程	開示していない科目 科目間の相異		

③学生評価の方針・方法の開示とその運用

開示内容と実施内容との齟齬の発生の有無

有 無

事象1

事由

実際はあるかもしれないが、教員と事務の双方が認識した事例は報告されていない。

事象2

事由

2 科目および進級判定の「コンピテンス・コンピテンシーの評価」の実績（※の項目は医学教育評価委員会で調査・記載）

①個別科目のコンピテンス・コンピテンシーの評価の方法

評価の概要

制定されていない

※実績評価の指標		項目1	項目2	項目3
項目1	実施率			
項目2	①科目間のコンピテンス・コンピテンシーの評価の相異 重みづけ ②科目間のコンピテンス・コンピテンシーの評価の相異 評価の方法 ③科目間のコンピテンス・コンピテンシーの評価の相異 評価結果のバラツキ			
項目3	①コンピテンス・コンピテンシーのアウトカムの可視化の実現 実施率 ②コンピテンス・コンピテンシーのアウトカムの可視化の実現 実施方法の差異			

②進級判定のコンピテンス・コンピテンシーの評価の方法（コンピテンス・コンピテンシーの評価を進級判定にどのように活用しているのかも記載のこと）

評価の概要

コンピテンス・コンピテンシーが制定されていない

③各科目の評価と進級判定の関係について（進級判定とマイルストーンのアウトカム評価の関係について記載のこと）

進級判定の考え方

マイルストーンが設定されていない

④進級判定におけるマイルストーンの達成度の可視化の実現

有 無

可視化の方法

※実績評価の指標	項目1	学年間のコンピテンス・コンピテンシーの評価の相異 重みづけ
	項目2	学年間のコンピテンス・コンピテンシーの評価の相異 評価の方法
	項目3	学年毎のコンピテンス・コンピテンシーの目標設定（マイルストーン）の有無
	項目4	学年毎のコンピテンス・コンピテンシーの目標（マイルストーン）の達成率
	項目5	学年毎のコンピテンス・コンピテンシーの目標（マイルストーン）の達成率と進級率との齟齬の有無

3 卒業判定での「コンピテンス・コンピテンシーの評価」の実績（※の項目は医学教育評価委員会にて調査・記載）

①卒業判定のコンピテンス・コンピテンシーの評価の方法（コンピテンス・コンピテンシーの評価を卒業判定にどのように活用しているのかも記載のこと）

評価の概要

未実施

②進級判定の評価と卒業判定の関係について（卒業判定とマイルストーンのアウトカム評価の関係について記載のこと）

卒業判定の考え方

未設定

③卒業判定におけるマイルストーンの達成度の可視化の実現

有

無

○

可視化の方法

未実施

※実績評価の指標	項目1	卒業判定と各学年の進級判定でのコンピテンス・コンピテンシーの評価との整合性
	項目2	卒業判定時のコンピテンス・コンピテンシーの目標（マイルストーン）の達成率
	項目3	卒業判定時のコンピテンス・コンピテンシーの目標（マイルストーン）の達成率と卒業率との齟齬の有無

4 学生個人の「学修成果の実績」のモニタリングの手法と実績

①学生個人の「学修成果の実績」のモニタリングの仕組み

モニタリングに関する指針・方針・規程

有

無

○

モニタリングに関する指針・方針・規程の名称を言えば、アセスメントポリシー

①学生個人の「学修成果の実績」のモニタリングの手法

モニタリングの手法		
項目	内容（誰の？何を？）	手法（何時？どのように？）
1	知識 1	
2	技能 1	
3	態度 1	
4	知識 2	
5	技能 2	
6	態度 2	
7	シミュレーター	
8	症例	
9		
10		

②学生個人の「学修成果の実績」のモニタリングの実績

モニタリングの実施率										
学年/項目	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10
1										
2										
3										
4										
5										
6										

5 学生個人の「学修成果の実績」の開示の実績

①学生個人の「学修成果の実績」の開示の仕組み

開示に関する指針・方針・規程

有

無

○

開示に関する指針・方針・規程の名称成績開示の方向性は、アセスメントポリシーで

②学生個人の「学修成果の実績」の開示の方法

「学修成果の実績」の開示の手法		
対象（学年・グループ）	内容（何を？）	手法（誰が？何時？どのように？）
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

6 「学修成果の実績」の評価に係る利益相反の回避の手立て

① 利益相反の回避の手立てに関する指針・方針・規程

利益相反に関する指針・方針・規程の有無

有 無

利益相反に関する指針・方針・規程の名称

② 利益相反の回避の手立ての手法

回避の手法

7 評価結果の疑義申し立て

① 被評価者からの疑義申し立てに応じる制度の有無

有 無

制度がある場合；

制度名

所掌部署名

規程の有無

有 無

概要

周知の方法

② 疑義申し立ての実績

有 無

概要

8 アセスメントポリシーの策定と見直し

① アセスメントポリシーの策定と見直しに関する指針・方針・規程の有；

有 無

指針・方針・規程がある場合；

名称；

岩手医科大学医学部アセスメントポリシー

概要

しを促される。ただし、変更が無い場合はそれでかまわない。

② 見直しによる効果を検証する制度の有無

有 無

制度がある場合；

制度名

特になし

所掌部署名

全学教育推進機構

規程の有無

有 無

概要

、各種ポリシーの見直しを定期的に図っている。

③ 見直しの実績

有

無

その事由 大学の運営方針に盛込む際に、文言を一部手直した。

その手順 会→教授会→全学教育推進機構

9 「学生の評価」の成果（※の項目は医学教育評価委員会で調査・記載）

①適切な評価の実施により改善が認められた事例（学生個人について）

特に報告されるような事例は無い

②適切な評価の実施により改善が認められた事例（教員について）

特に報告されるような事例は無い

③適切な評価の実施により改善が認められた事例（教育プログラム全般について）

特に報告されるような事例は無い

※実績評価の指標	項目 1	「学生の評価」の学生の満足度
	項目 2	「学生の評価」の教員の満足度
	項目 3	学生の進級率

1 「教育プログラムと教育についての教員と学生のコンセンサス」を実現する方策とその実績

①「教育プログラムと教育についての教員と学生のコンセンサス」を実現する方策の有無 有 無

方策がある場合；

その名称1 カリキュラム懇談会
 その概要 各学年代表者（2名）がクラスからの意見を持ち寄って教務委員会メンバ

その名称2
 その概要

②「教育プログラムと教育についての教員と学生のコンセンサス」の実現の実績

「①」の方策の利活用の実績	指標1	実績	目標値	到達度
	指標2	実績	目標値	到達度
	指標3	実績	目標値	到達度

概要と課題
 学びたい、という意向にあわせて臨床課程を学ぶ機会を設けたりしたが、数値目標できるような事項ははな

2 「教員と学生のフィードバックの実現」の手立てと実績

①「教員と学生のフィードバックの実現」の手立ての有無 有 無

手立てがある場合；

その名称1 カリキュラム懇談会
 その概要 各学年代表者（2名）がクラスからの意見を持ち寄って教務委員会メンバーと懇談

その名称2
 その概要

②「教員と学生のフィードバックの実現」の実績

「①」の手立ての実績	指標1	実績	目標値	到達度
	指標2	実績 <th>目標値</th> <th>到達度</th>	目標値	到達度
	指標3	実績 <th>目標値</th> <th>到達度</th>	目標値	到達度

概要と課題
 フィードバックの数値化はなされていない。

3 「学生の学修成果」のモニタリング

①「学生の学修成果」のモニタリングの実績の有無 有 無

実績がある場合

モニタリングの項目

その手法1	目標値	実績
1 業に向かったモニタリングとして定期試験による進級判定をおこなって		
2 各種定期試験で認知領域の評価をおこなっている		
3 OSCEによる精神運動領域の評価をおこなっている		
4 各種実習で、精神運動療育と情動領域の評価をおこなっている		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

実績がある場合
モニタリングの項目

その手法2		目標値	実績
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

4 「卒業生の学修成果」のモニタリング

① 「卒業生の学修成果」のモニタリングの実績の有無

有 ○ 無

実績がある場合
モニタリングの項目

その手法1		筆記試験	
1	認知領域の評価を卒業試験でおこなっている。	目標値	実績
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

実績がある場合
モニタリングの項目

その手法2		目標値	実績
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

5 「学生の学修成果」とカリキュラム

評価の基準

指標 1	科目とコアカリの整合性	実績	ある
指標 2	科目ごとの合否判定の基準	実績	60点
指標 3	科目ごとの合否判定の結果	実績	ある
指標 4	評価のバラツキ	実績	未調査

6 「学生の学修成果」と学修支援

評価の基準

指標 1	学修成果の達成度の可視化	実績	無し
指標 2	学生への達成度の開示	実績	未調査
指標 3	評価への異議申し立て	実績	無し
指標 4	CBT	実績	IRT 359
指標 5	進級率	実績	
指標 6	卒業率	実績	

7 「学生の学修成果」と教育資源

評価の基準

指標 1	症候数	実績	未調査
指標 2	医行為	実績	未調査
指標 3	シミュレーター利活用	実績	未調査
指標 4	OSCE	実績	実施
指標 5	pct-OSCE	実績	未実施
指標 6	OSCE	実績	?

8 「教育プログラム評価の結果」をフィードバックの手順とその実績

① 「教育プログラム評価の結果」をフィードバックする手順の有無

有 無

手順がある場合；

その名称

その概要

② 「教育プログラム評価の結果」のフィードバックの実現の実績

項目 1

項目 2

項目 3

実績

実績

実績

概要と課題

--

1 教育予算と資源配分の決定の実績

① 教育予算と資源配分の方針 有 無

名称 所掌

概要

(決定までのフロー)

無いが、各教育担当部署からの要望をもとに教務課で決定。あるいは補助金による施設整備は全学教育推進機構にて議論し、決定して

② 教育予算と資源配分の実績

予算額
内訳

重点項目
決定額
内訳

③ 予算立案から決定に至る経緯

同上 おおび人的資源に関しては。教員編成方針を策定済み

内 専門家 人

2 の概要

2 教育プログラムの実施に掛かる事務体制の定期的点検の有無とその実績

① 事務体制の定期的点検 有 無

規程 所掌

概要

② 点検の実績

課題

対応

1 医学教育プログラム評価の「評価結果の活用」の実績

①評価結果の活用の実績 有 無

項目 1

課題

ラム評価は、教務委員会でなされてきたが、行動主体評価主体が同一であるため、PDCAサイクルがまわっているかどうかの検証がなさ

対応

教育評価委員会による評価（2017年度より）

新たに策定された指針・計画・規定等

規程

教育評価委員会規程

所掌

教務課

概要

項目 2

課題

対応

新たに策定された指針・計画・規定等

規程

所掌

概要